

小島組 SDGs達成への取り組み

目標	取り組み	目標	取り組み	目標	取り組み
 <p>1 貧困をなくそう</p>	<p>①赤い羽根共同募金を通じて活動を行う。 (募金で集まった資金は災害・被災地支援や社会福祉等に使用されます。)</p>	 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>①社有車をハイブリッドカーやEV車へ変更することによりCO2排出量の削減。 ②社内の焼却炉は環境基準に適合したものであるが毎年、メーカーによる点検を実施し、性能の維持を図る。</p>	 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>①重錘式油圧グラブ浚渫船の大容量・効率的な作業による消費燃料削減・CO2排出の抑制。 ②ハイブリット浚渫船の作業による消費燃料削減 CO2排出の抑制。 ③浚渫や護岸整備による、台風、高潮など対応する港湾整備。 ④環境にやさしいグラブ浚渫・風力搬送の技術を海外に展開。</p>
 <p>2 飢餓をゼロに</p>	<p>何が出来るか検討中です。</p>	 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>①ICT導入による若手の担い手確保 ②「リフレッシュ休暇制度」、「有給休暇の2年間繰り越し制度」の導入により、長期休暇が確保でき、旅行等による他業種への経済効果が波及。それと同時に社員のリフレッシュ効果で、業務への好影響と働きがいにつながる。 ③土木関連分野はもちろんですが、それ以外の分野においても、若い人材による事業創出に挑戦。</p>	 <p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>①海岸清掃活動（ボランティア活動）へ積極的に参加。 ②作業船見学会を開催し、環境、防災・減災、災害復興において海洋土木・港湾の重要性の周知活動を実施。 ③ISO140001を取得し環境マネジメントに則り活動。</p>
 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>①有給休暇の繰り越しを1年間から2年間に延長し、有給休暇取得の奨励。（特に連続休暇取得奨励） ②船舶職員に対してリフレッシュ休暇制度を導入。（30日間連続休暇を年2回取得等） ③ローテーション勤務等による時間外労働時間の削減。 ④心身とも健康で、働きやすい職場環境を整える。（ストレスチェックの結果を向上させる。） ④ISO45001を取得。労働安全衛生マネジメントに則り活動。</p>	 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>①ICT浚渫導入による効率的な施工を行う。（浚渫船の自動運転に取り組み。） ②新しい技術開発（土木施工技術・作業船の技術）へ積極的に取り組む。</p>	 <p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	<p>①緑の羽根募金を通じて毎年募金活動を行う。（植樹や間伐など国内の森林整備の他、震災で被災した方への支援、子供への森林環境教育、海外の緑化支援に使われています。） ②街や海岸の清掃活動（ボランティア活動）へ参加。 ③ISO140001を取得。環境マネジメントに則り活動。</p>
 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>①社内教育制度の確立 ・教育訓練の年間計画を作成し、計画に沿って実行。 ・各個人のスキルマップ計画表を作成し、目標とするスキル取得への進捗を管理しながら確実にスキルアップを図る。 ②学生の土木施工現場見学及び土木施工現場体験を開催。 ③学生の作業船の見学及び作業船の技術開発・改良業務に触れる機会を開催</p>	 <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>①外国人職員の積極的な採用。（現在、外国人職員3名が在籍。） ②ダイバーシティ推進室を立ち上げ、ダイバーシティ宣言をしております。</p>	 <p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>①国内はもちろんですが、海外の土木施工現場でも公平性・協調性を重視し活動。 ②社会福祉施設へ当社のノベルティグッズを無償提供。 ③当社ノベルティグッズの製作を社会福祉施設へ依頼</p>
 <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>①性別に関係なく昇進昇格基準を同じとしている。 ②女性の施工管理技術者の積極採用。 ③ダイバーシティ推進室を立ち上げ、ダイバーシティ宣言をしております。</p>	 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>①浚渫・埋立工事による、災害に強い港湾づくりで社会インフラ整備へ貢献する。</p>	 <p>17 パートナシップで目標を達成しよう</p>	<p>①SDGs登録を積極的に行い、社員の意識も高め目標を達成する。 ②事業活動を通しての目標達成はもちろん、ボランティア活動等も積極的に行い目標を達成する。 ③BCP協定による災害対応。（港の航路啓開活動等） ④新聞社と提携し災害時の流通経路の確保に協力。</p>
 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<p>①環境に配慮した施工方法により海洋汚濁を抑制。 ③作業船で使用する清水を海水から作る試みを実施。</p>	 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>①コンプライアンス委員会を設置し法令遵守を徹底。 ②ISO9001を取得。品質マネジメントに則り活動。 ③災害時の対応として社内で保管している食品について、賞味期限が近くなった食料品・飲料水を希望される団体へ無償で提供。</p>		